

日本語 NETWORK NEWS

東京日本語ボランティア・ネットワーク発行

'94年3月19日、第一回交流会を開催 会員の多数出席により、盛会のうちに終了

分科会、全体会とも活発な話し合いが行われる

東京日本語ボランティア・ネットワークの第一回の交流会が1994年3月19日(土)に東京ボランティア・センターにおいて開催されました。各地から多数の会員のみなさんが出席していただき、テーマ別に別れた分科会と全体会では活発な話し合いが行われました。ここにその内容と参加者のアンケートの結果をご報告します。東京日本語ボランティア・ネットワークでは第一回の成果と反省点を基に、第二回の交流会も企画中。現在、7月下旬もしくは8月初めに開催の予定で準備を進めていますが、詳細については決定次第ご案内いたします。

- | | | |
|-------------|--------|---------------------|
| | | 1 日本語ボランティアについて考える |
| 13:00~14:15 | 分科会 I | 2 ボランティアグループの運営について |
| | | 3 ビデオ教材の使い方について |
| 14:15~14:30 | 休憩 | |
| | | 4 外国人からの意見を聞いて |
| 14:30~15:45 | 分科会 II | 5 外国人のかかえる問題への対処 |
| | | 6 教科書・教材の選び方 |
| 15:45~16:00 | 休憩 | |
| | | 1 ホームビジット・ホームステイの紹介 |
| 16:00~17:00 | 全体会 | 2 各分科会からの報告 |
| | | 3 質疑応答 |



各分科会ともなごやかに進められた

◆分科会 I / 日本語ボランティアについて考える

パネリストの古川ちかし氏よりの「日本語を教えるということは日本語ができないと一人前ではないという側面を持つ」「ボランティアとしての関わりは第三者が評価・決定するものではないか」という問題提起から、幅広いテーマで意見交換。『日本語ボランティアのとらえ方・役割認識が個人・団体・行政で異なる』『ボランティアの一手段としての日本語指導か、日本語指導にボランティアとして携わるのか』『学習者への関わりや言語教育等に関する専門性』『行政支援・補助の是非や行政との関係』などについて活発な議論がなされました。(担当; 柳沢好昭・藤橋帥子、参加者36名)

◆分科会2/ボランティアグループの運営について

パネリストとして日本語地球交流会（新宿区）の酒匂康裕氏、さざんかの会（青梅市）の坂東裕美氏、多摩市国際交流センター（多摩市）の大滝啓子氏から、ボランティアグループの発足の経緯や現在の活動などについて報告。具体的なお話をうかがいながら、ボランティアグループの運営にまつわるさまざまな問題点について意見の交換をしました。（担当；国武礼子、参加者25名）

◆分科会3/ビデオ教材の使い方について

初めにNHK放送研修センターの堀氏より、今回のビデオ教材に関して「日本語教育の経験の浅い人や授業の準備に時間を割けない人でも教えられるように」という趣旨で作成されたとの説明がありました。次に、横浜国立大学の小田切先生の分かりやすい解説を交えながら模擬授業が展開。また『日付けの言い方』の学習に役立つカードゲームの紹介では実際に参加者がゲームをやってみました。ビデオ教材を導入することの長所・短所について参加者からの意見もいろいろでしたが、価格が高いこともあり、公の図書館や国際交流団体などが購入・貸し出しをする方法で私たちボランティア団体が利用できたらと思います。（担当；大野京子、参加者26名）

◆分科会4/外国人からの意見を聞いて

フレンド日本語教室（板橋区）で日本語を学習中の、劉さん、マイクさん、薇さんがパネリストとして日本語の学習や生活についてスピーチ。そして、参加者の質問に対してパネリストに答えてもらうという質疑応答の形式で、日本での生活全般から日本語の学習まで興味深い話を聞くことができました。「クラス形式なので同じレベルで始めても、漢字の分かる中国人などは先に進みがち」「人によって弱い部分が違うので1対1の時間がほしい」「日常生活に即した会話を学習するとすぐに応用できる」など、いろいろな意見を聞くことができました。（担当；清水禊子、参加者25名）

◆分科会5/外国人のかかえる問題にどう対処するか

IWCの小泉氏、IAC国際理解の会のウー・ヴィッキー氏、世界の子どもと手をつなぐ学生の会の近藤氏をパネリストに、今回は学齢の子どもたちの問題にしばって話し合いました。諸外国で外国の学童・生徒への自国語のケアが制度化されているのに対し、日本の公立小・中学校などでの取組は充分とは言えません。外国の子どもが増加し日本語教育のニーズが拡大している今、行政はすぐにも動きだしてほしいもの。ボランティアが力を集結して成果をあげている教室を援助・協力することで、血の通った国際貢献ができることを知ってほしいと思います。（担当；伊藤美里、参加者31名）

◆分科会6/教科書・教材の選び方

福田知行氏をパネリストに、㈱凡人社の協力でさまざまな資料を前に始まりました。日本語を教える場合にたいへん難しい教材選びについて、必要不可欠な事例のポイントの解説とアドバイスをいただきました。とくに、初級の教材について詳しい説明がありました。また「中級の教材が少ないのでは」という質問に対しては「生徒のニーズが多方面にわたるため、テーマやレベルを考慮し教師は入念な準備のもとに、教師個々の方法で授業を進めることが大切」というお話でした。実際に各種の教材を手にとってみることもできて、有意義な会でした。（担当；中田紀子、参加者23名）

第1回交流会アンケート結果報告

交流会の当日、参加者に対して実施したアンケートの集計結果をご報告します。

1 : 交流会をどこで知りましたか？

ほとんどの参加者が『日本語NETWORK・NEWS』や所属しているボランティアグループから交流会について知ったようです。

所属するボランティア・グループから (51%)	ネットワークニュースから (27%)	運営委員から (13%)
----------------------------	-----------------------	-----------------

2 : 参加してどう感じましたか？

参加者の76%が『よかった』と回答。よかった点、あまりよくなかった点の割合理由は下記のとおり。

よかった (76%)	あまりよくなかった (10%)	その他
---------------	--------------------	-----

よかった パネリストの話は参考になった (19名)	インフォメーションが役にたった (7名)	運営がスムーズ (3名)
---------------------------------	-------------------------	-----------------

あまり、よくなかった

ディスカッションする時間、内容、運営が充実していない (4名)	パネリストの話は、参考にならなかった 1名	会場まで来るのがたいへんだった 1名
------------------------------------	--------------------------	-----------------------

3 : 『今後、交流会を実施するにあたっての要望』としては、以下のような意見がだされました。

交流会の運営について



- * 2・3か月に1回のペースで開催してほしい。
- * 毎回違った内容の分科会をしてほしい。
- * 生徒同士の交流もできたらよい。
- * 勉強会も開催してほしい。
- * いろいろな人と情報交換できるよう質疑応答の時間がほしかった。

交流会の内容について



- * 短くて物足りなかったなので、もっと時間をかけて話し合いをしたい。
- * 総論で終わってしまったので、各論について話をしたい。
- * ポイントを整理してほしかった。
- * もっと内容を絞ってタイトルをつけてほしい。
- * 事前に分科会のテーマだけを知らせるのではなく、具体的な問題提起をしてほしかった。

参加者のみなさんのこのようなご意見を参考に、今後の交流会やイベントの企画に役立ててゆきたいと考えています。ご協力ありがとうございました。第二回の交流会については詳細が決定次第に案内いたしますので、もう少しの間お待ちください。



運営委員会からのお知らせ

東京日本語ボランティア・ネットワーク会員一覧

👥 団体会員 [62団体]

👤 個人会員 [41人]

🏆 賛助会員 [5団体]

<団体会員>

- | | | |
|------------------------------|-------------------------------|--------|
| さくら会 (港区) | 東京YMCA中国帰国者日本語教室市ヶ谷校 (新宿区) | (62団体) |
| たのしい日本語 (江東区) | やさしい日本語教室 (江東区) | |
| みんなの日本語 (江東区) | にほんご教室 (江東区) | |
| 難民を助ける会 (品川区) | IWC国際婦人クラブ (品川区) | |
| 日本語の会 (港区) | コミュニティーYou&I (大田区) | |
| 外国人とともに生きる大田・市民ネットワーク (大田区) | 世田谷国際友好クラブ (世田谷区) | |
| 日本語教室 WAI WAI (新宿区) | 杉並インターナショナルクラブ (杉並区) | |
| 地球クラブ (北区) | 日本語ともの会 (北区) | |
| 日本語グループかたつむり (北区) | 国際交流日本語のなかま (北区) | |
| グループやさしい日本語 (練馬区) | ことばのひろば (板橋区) | |
| 話しましょう日本語を (練馬区) | 日本語の会 (練馬区) | |
| ともだち (足立区) | 江戸川ユニオン日本語教室 (江戸川区) | |
| 成増日本語サロン (板橋区) | 足立区日本語ボランティア「ふれあい」 (足立区) | |
| さざんかの会 (青梅市) | 府中国際交流クラブ日本語サロン (府中市) | |
| 中国帰国者の会・調布日本語学校 (調布市) | 小平日本語クラブ (小平市) | |
| 日野国際友好クラブ (日野市) | 中国帰国者の会・立川日本語教室 (立川市) | |
| 狛江国際友好クラブ (狛江市) | 「日本語の会・木曜教室」 (東大和市) | |
| 駒場日本語教室 (目黒区) | 日本語を話しましょう (目黒区) | |
| 八王子にほんごの会 (八王子市) | 世界の子どもと手をつなぐ学生の会 (CCS) (八王子市) | |
| 日本語地球交流会 (JES) (新宿区) | フレンド日本語教室 (板橋区) | |
| 多摩市国際交流センター (多摩市) | まちだ日本語ボランティアネット (町田市) | |
| 立川国際友好協会 (TIFA) (立川市) | JCA千歳 (世田谷区) | |
| JCA玉川 (世田谷区) | すみだにほんごボランティア21 (墨田区) | |
| ふれあい (練馬区) | 東大島日本語教室 (江東区) | |
| アジアと交流する市民の会 (葛飾区) | 目黒ユネスコ協会 (目黒区) | |
| アジアの女たちの会・立ち寄りサポートセンター (荒川区) | 町屋日本語教室 (荒川区) | |
| 練馬区国際交流協会 (練馬区) | 足立区日本語ボランティア「なでしこ」 (足立区) | |
| I AF日本語教室 (港区) | 中野区国際交流協会日本語クラス (中野区) | |
| 光スタッフの会 (国分寺市) | 田無国際交流サークル (田無市) | |
| LTC友の会 (杉並区) | 八王子国際友好クラブ (八王子市) | |
| 木ようびの日本語 (江東区) | JAMIC日本語クラス (多摩市) | |
| 日本語サロン (北区) | | |

<個人会員>

- | | | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 豊島直人 | 福田知行 | 林川玲子 | 山崎美智子 | 大滝啓子 | 中田紀子 | (41人) |
| 藤橋帥子 | 駒澤千鶴 | 佐藤慎司 | 持田さゆり | 谷口祥子 | 高坂聖子 | |
| 前田恭子 | 阿武 桂 | 吉田良子 | 岡田美奈子 | 重岡弘子 | 柳沢好昭 | |
| 古川ちかし | 松岡悦子 | 大久保正美 | 宮内永子 | 河北美子 | 古津千重子 | |
| 井上玲子 | 橋本佳子 | 佐藤泰子 | 覚元 薫 | 高橋香絵 | 河村加代子 | |
| 多田洋子 | 真島朗子 | 立道三幸 | 田島信子 | 近藤三知代 | 加藤千恵子 | |
| 村上佳央子 | 長本ゆき子 | 道塚美都子 | 芦田順子 | 中川真喜子 | | |

<賛助会員>

- | | | | |
|---------------|-----------------|--------------|-------|
| (株) 凡人社 | (財) NHK放送研修センター | (株) アルク | (5団体) |
| (財) 国際文化フォーラム | (株) スリーエーネットワーク | 1994年5月31日現在 | |

『日本語ホットライン』発足のお知らせ

このたび、東京日本語ボランティア・ネットワークの活動の一環として、『日本語ホットライン』が正式に発足することになりました。

当初は日本語文法関係と日本語教授法関係だけという構想でしたが、どうせならばボランティア活動に関する問題を幅広く取り上げてはどうかという意見が出ました。そこで、日本語の問題以外に、外国人の抱える問題、外国人の医療・住宅問題、ホストファミリーの問題、行政との折衝などに関するホットラインも同時に設置することになり、多くの方々のご協力を得てここに発足できることになりました。ただし、相談内容によっては対応できない場合もありますのでその点は前もってご了承ください。またホットラインの利用は一応「東京日本語ボランティア・ネットワーク」会員に限らせていただきます。利用時間帯は以下の通りですので、どうぞご利用ください。

ホットラインへのご意見・ご要望は東京日本語ボランティア・ネットワークまでお寄せください。

	(担当者)	(電話番号)	(利用時間帯)	(曜日)
■日本語教授法	林川 玲子	03-3473-5088	10:00~12:00	(木)
■日本語文法	福田 知行	03-3416-8834	19:00~22:00	(日)
■外国人の抱える問題(法律問題含む)	中田 紀子	0423-72-2236	18:00~22:00	(土)
■ホストファミリーの問題	吉田 良子	03-5970-0788	18:00~22:00	(火)
■外国人子弟の就学問題	伊藤 美里	03-3773-6501	10:00~16:00	(月~金)
■行政との折衝	豊島 直人	0426-64-1656	随 時	
■外国人の医療問題	田中 穂積	0428-22-2762	15:00~17:00	(月火水金)
■外国人の住宅問題	原田久美子	0425-42-5519	10:00~12:00	(土)

(FAX同上)

日本語ボランティア講習会、実施中!

東京日本語ボランティア・ネットワークが主催する第一回日本語ボランティア講習会が、5月16日にスタートしました。今回は多少指導経験のある人を対象に、どのように外国人の日本語教育に関わってゆくかということを中心に、全10回の講習を実施。前半の勉強会Ⅰでは日本語教授法を中心にさまざまな問題の処理法をディスカッション形式で、後半の勉強会Ⅱでは外国人をとりまく諸問題について各方面の講師の方を中心に話し合っています。

現在までのところ、参加者のアンケートの結果では、よかった点としては「他のグループの状況を知ることができた」「経験者からの具体的な話が参考になった」、また反省点としては「もっと時間がほしかった」「参加者の話をもっと聞きたかった」という意見が目立ちました。

この講習会は7月18日までの毎週月曜日午後1時から3時30分まで東京ボランティア・センターで行われています。2時45分からの勉強会Ⅱは当日の参加も受け付けておりますので(参加費1回 200円)興味のある方はぜひご参加ください。



NICE TO MEET YOU!

[会員団体のプロフィール紹介]

東京日本語ボランティアネットワークには、94年4月現在で62の日本語ボランティア団体が会員として参加しています。このコーナーでは毎回、会員団体のプロフィールをご紹介します。

日本語を教え続けて思うこと

IWC 国際婦人クラブ 伊藤 美里

あなたやあなたのお子さん、お孫さんまたは御親戚の方で、海外で留学をしたり生活をしている、またはしたことがあるという方は多いのではないのでしょうか。

そうでなくとも、地球はどんどん小さくなっています。日本の人口の1%に当たる120万人の外国人が登録しています。そしてもっと多くの旅行者や不法就労者の数を考えると日本もついに国際的になってきたと錯覚してしまいます。

本当に日本は国際的になったのでしょうか。外国で日本人がお世話になっているように外国の人を日本はお世話しているのでしょうか。日本の公立小・中学校や地域のコミュニティーカレッジは外国人に門戸を開いているのでしょうか。そんなところに目を向けて、外国の方が日本で生活する上での言語、文化、法律、習慣の違いや情報不足による不便を解消してもらうためのボランティア活動をするのがIWCの目的です。外国の方も日本人と一緒にボランティアをしています。交流を通しての国際理解にも協力しています。活動することが生きた勉強になっています。

「日本語で日本語を教える」を目標にして

多摩市国際交流センター

日本語セミナー 中田 紀子

1987年より民間の多摩市国際友好クラブ、日本語講座として(月)(土)クラスがスタートしました。その後、活発なクラス活動が母体となり1993年3月行政、企業、ボランティアが一体となり、市民主導型の国際交流センターが発足しました。総務、企画、広報、外国人相談委員会の中において、日本語セミナーの活躍はめざましく、月、金、土と週3回開講し、市内および近辺からの受講生も受け入れ、講師対受講生の人数は平均(月)13人:15名、(金)10人:6名、(土)18人:20名と毎回盛況に行われています。

交流センター会員の熱意とその実情に対し、行政からの深い理解を得られ、今年4月設立1年目という非常に早い時期に専用室を市役所第二庁舎内に確保することができました。教室確保のために奔走していた頃とは違い、現在は落ち着いた雰囲気の中で授業が行われています。

外国の方に気持ちよく日本語を勉強していただくために、また授業内容としては、できる限りマンツーマン方式をとり、日本語を教える以外にも、さまざまな生活面の協力をして、外国人のカルチャーショックを柔げたり、異国での寂しさをまぎらわす等、心の交流にも重きを置いています。

日本語を通して生活をサポート

さくら会 小田道子

歴史 約10年前、港区婦人会館主催の「外国人のための日本語セミナー」が新聞で紹介されました。その記事を読んだ何人かの人々がセミナーの助手を申し出て集まりました。セミナーが終了した後、有志の人々が集まって自分たちでボランティアグループを作ろうということになり「さくら会」が結成されました。

活動内容 初級から上級まで5つのグループに分かれ、JR田町駅を中心に、港区婦人会館、三田図書館、勤労福祉会館などで、日本語を教えています。初級の1クラスのみ週2回で、その他の4クラスは週1回の授業です。現在日本人会員は15名、外国人会員は約50名です。年1回の遠足とパーティーは、会員が全部集まって親睦をはかっています。

特長 年間を通して随時入会することができます。外国人に対して日本語を教えることのみでなく、日常生活での相談にもなっています。海外滞在経験のある日本人会員も多く、そのおりに受けた恩を今度はボランティアとして返そうという気持ちの人もあります。

暮らしに役立つアドバイス

たのしい日本語 守屋和美

「たのしい日本語」は、江東区文化センター講座の中のひとつである「外国人への日本語指導法・初級」を受講終了された方々により昭和62年に発足され、その後、毎年を終了生に受け継がれている日本語教室です。活動は毎週火曜日の午前、初級クラスをレベル別に4つ設けるなど、基礎から着実に身につけたいというニーズに合わせて、きめ細かい指導を行っています。教師陣も他の語学や音楽・スポーツ等の指導経験者が多く、生徒の大半を主婦の方々が占めているのですが、日本での生活・育児における心配事などにも適切なアドバイスで授業時間以外でも対応しています。

また、生徒間の交流の橋渡しにもなるようにと、毎回授業の中程で一斉にコーヒータイムをとり、10分程度ですが、なごやかな時間をすごしています。教えられる側も教える方も双方が楽しく日本語を学び続けられることを目標に、このボランティア活動をしっかり、末長く受け渡していきたいと願っております。

希望者は誰でも受け入れたい

ともだち 甲斐武子

足立区の日本語ボランティア養成講座終了者により発足した「ともだち」は、昨年5周年記念の祝賀会を学習者と共に盛大に行いました。「学習希望者はできる限り受け入れる」が私達のモットーです。現在18名のボランティアと60余名の学習者がいますが、常に入室希望者が待っている状態です。多くの人々の入室希望をかなえるためにレベルアップした人を中心に別室を設けフォローすることにしました。

子供連れがいますので、子供の面倒をみてくれる人を探し、その方々が、保育ボランティアとして、同じ室内で子供を担当してくれています。

また日本語を初めて学ぶ人達の日常生活にすぐ役立つ手頃なテキストがないので、皆でテキスト作りに取り組んでいます。難しい作業ですが私達の勉強になると同時にチームワークも一段と高まっています。



夜明けを迎えたJSL (Japanese as a Second Language)①

都民の8割が日本語教育の重要性を理解

英語圏でのESL教育の歴史と現状には目を見張るものがありますが、日本国内では公的制度の立ち遅れゆえに、日本語学校が営業活動として行ってきました。しかし、現在ボランティアや自治体による教室の開設が進み、《制度としてのJSL》を実現していく第1ステージを迎えています。40万人の外国人が住むといわれている東京で教室のネットワークが作られました。このネットワークは地域社会に密着した、《制度としてのJSL》を担う実施主体です。そして自治体（都と区市町村）への働きかけと同時に都民の意識（世論）を変えていくことも大切となってきます。ここに興味深い意識調査結果があります。昨年8月に東京都が都民3千人（港区、新宿・羽村の各千人）の意識調査を行いました。この内容を数回に分けて紹介します。

【都民3千人（港区・新宿・羽村の各千人）に行った意識調査】

♫ 「外国人も日本で暮らす以上、
自助努力で日本語を習得すべきだ」

♫ 「外国人が日本で生活しやすいように
公的な日本語教育を充実すべきだ」

♡ そう思う 82.8% 思わない 9.9%

♡ そう思う 67.0% 思わない 24.3%

1993年8月実施

ここでは、「自助努力で」などという設問自体に行政の基本的姿勢の欠如が見られますが、8割の都民が日本語教育の重要性を理解し、さらにその内の8割（67.0/82.8）が公的に行うべきだとしているようです。82.8%と67.0%の差の15.8%が高いお金を払って日本語学校へ通えばよいと考えていると解釈できそうです。公的な制度そのものに反対する24.3%の都民にも気配りが必要ですが、基本的なコンセンサスはできつつあると見るべきでしょう。

なお、都の国際政策懇談会（大河原良夫座長）がこの4月27日に都知事に答申を行いました。そのなかでは、「外国人の共生」を理念として掲げ、「日本語教育や母国文化の維持・発展への配慮」「民間団体の活動支援」など新機軸を打ち出しています。また「ボランティア、NGOも参加した行政と地域社会の（広域）ネットワーク組織」の必要性を強調しています。

（三多摩国際交流ネットワーク・豊島直人）

日本語ボランティアQ & A



Q：私たちのグループは週1回しか活動ができないので、学習者に十分教えることができません。何かいい方法はないでしょうか。

A：確かにボランティア活動の場合は教える時間が短いというのが一般的で、そうした条件では十分に教えることができないと感ずることがあります。しかし、それはいわゆる日本語教育機関などの日本語教育と同じことをしようとしているからではないでしょうか。ボランティアの場合はカリキュラムなどにとらわれずに学習者に接することができるという利点を活かせばよく、市販の教科書に沿って教える必要はないと思います。日本語の教え方にもいろいろあり、教授者としてでなく援助者として日常生活の具体的な活動にかかわるところから手助けをしていくというのも一つの方法です。もちろん活動の場として特定の場所・特定の日を定める必要はあるでしょうが、時間が許せば教室活動以外にもそうした日常生活に密着した援助を広げていくというのはどうでしょうか。

日本大学講師 福田知行

世界ボランティア会議

-第13回 I A V E 世界会議-

10月30日より11月3日まで
日本での初開催が決定

☞会議準備のためのボランティアを募集中

1994年10月						
SU	M	TU	W	TH	F	ST
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

世界会議!

1994年11月						
SU	M	TU	W	TH	F	ST
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

世界会議!

I A V E 日本（ボランティア活動推進国際協議会日本支部）では、今年10月30日から11月3日にかけて「世界ボランティア会議-第13回 I A V E 世界会議」を行います。この会議は世界の80ヶ国あまり（約600人）より、いろいろな分野で活動しているボランティアたち、ボランティア活動を推進している人たち、ボランティアに関心のある人たちなどの集まりです。

I A V E は1970年に米国で設立された非政治、非営利の国際ボランティア推進団体です。1987年に国連経済社会理事会の民間諮問機関として正式に承認されました。この世界会議は世界各地で1年おきに開催されており、日本での開催は初めてです。

この会議を実り多いものとするために、組織委員会・運営委員会の協力を得て、さまざまなプログラムを準備していますが、たくさんのボランティアの手を必要としています。事務作業、広報、通訳、プログラムの準備作業・運営、コンピューター等の入力作業、マイクロバスの運転手などでお手伝いいただける方は、ぜひご連絡ください。

●連絡先 I A V E 日本 〒151 東京都渋谷区代々木神園町3-1

国立オリンピック記念青少年総合センター内

TEL: 03-3467-4781 FAX: 03-3467-5592

担当 永井

東京日本語ネットワークは、東京ボランティアセンターの依頼により開催期間中（11月2日）に実施されるフィールド・ビジットを受け入れます。これは国内・外の参加者が実際のボランティア活動の現場を視察するものです。当ネットワーク所属の会員（外国人および日本人）が上記会議のボランティアとして「通訳」のお手伝いができると思いますが、いかがでしょうか。詳細につきましては、あらためて連絡しますので、よろしくお願ひします。

「外国人子弟と日本語教育」研究会（仮称）がスタート

今年6～7月に第1回研究会開催予定

世界の子どもと手をつなぐ学生の会（CCS）は、八王子を拠点に外国人子弟へのサポートを行ってききましたが、子どもたちへの日本語教育を充実させるために研修会を兼ねた研究会をスタートさせます。

都内の日本語学級では“草分け”ともいえる八王子市長房小の日本語学級を長年にわたり担ってきた小林尚子さんや国立国語研究所の研修生もスタッフとして参加します。6～7月に第1回目をもつ予定ですが、できるだけ都区内にも近い多摩地区（中央線沿線）の会場で年10回程度のペースで行いたいと考えています。都内のボランティアの方々や教育関係者にも参加して頂けますので、ご興味をお持ちの方はご連絡ください。

《連絡先》 ☎03(3967)8814 近藤知子





東京ボランティア・センター 162 東京都新宿区神楽河岸1-1

☎03-3225-1171

このコーナーでは毎回、日本語ボランティアの活動をサポートしてくれる、知っている役立つさまざまなスポットをご紹介します。第1回目の今回は、飯田橋の東京都社会福祉総合センター内の東京ボランティア・センター。言うまでもなく、私たち東京日本語ボランティア・ネットワークの活動の拠点であり、運営委員会などの開催場所としてすでにご存じのみなさんも多いと思います。

1981年4月に開設された東京ボランティア・センターは、社会福祉法人東京都社会福祉協議会が東京都からの委託で運営している施設。地域のボランティア活動を啓発し、バックアップすることを目的に各種ボランティア活動推進団体・機関と協力して、以下のような活動を行っています。

- ◆ボランティア活動に関する情報や資料の収集と提供
- ◆ボランティア活動のための学習・研修の場の提供
- ◆地域のボランティアや社会福祉施設に関する調査・研究
- ◆各種のボランティア団体や推進機関の相互の連絡・調整
- ◆ボランティア活動の啓発と活性化をはかるキャンペーン
- ◆各種のボランティア活動の推進事業

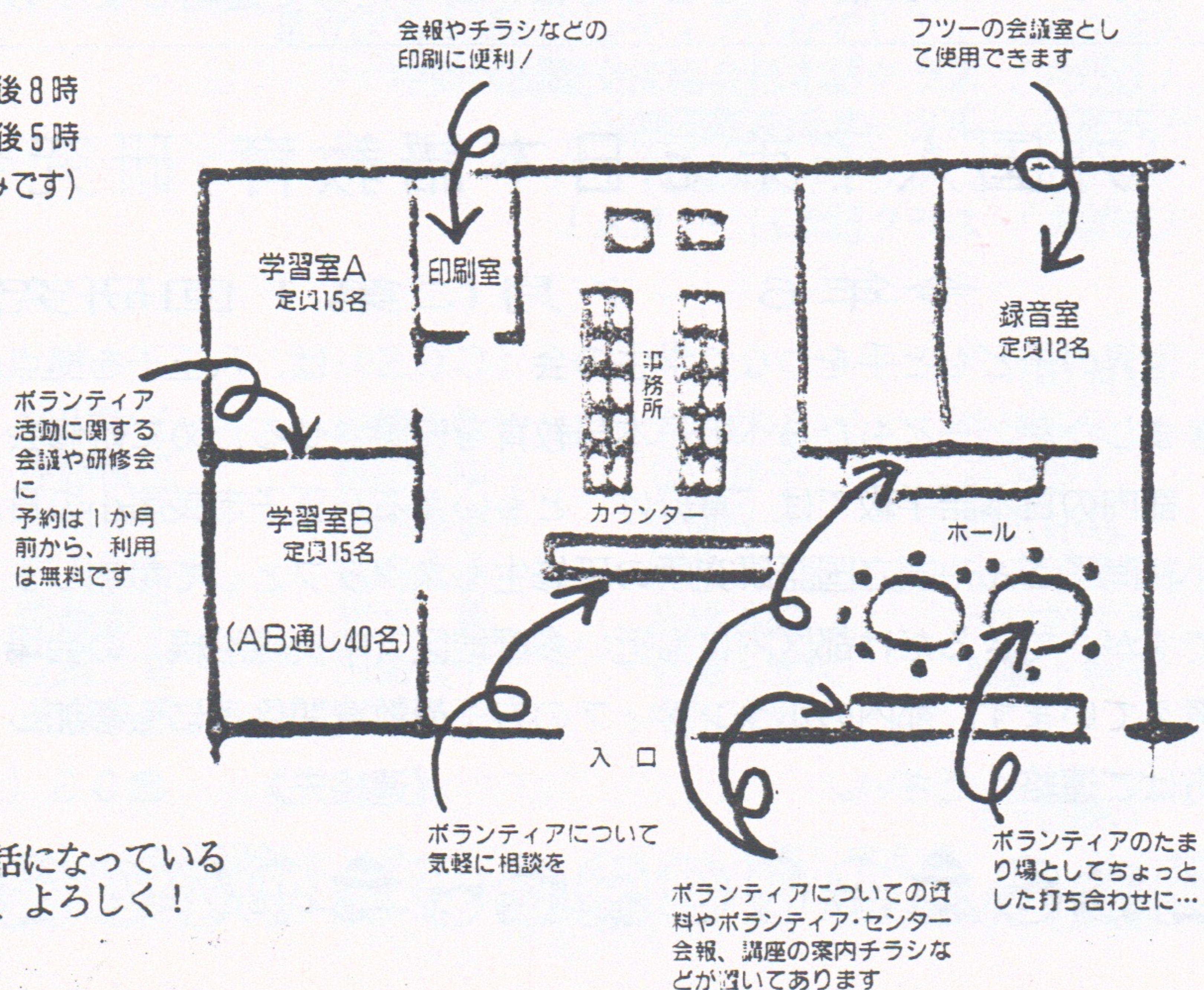


JR・地下鉄飯田橋駅のすぐ上、セントラルプラザ7Fの東京ボランティア・センターには、都内各区市町村のボランティアセンターの会報、ボランティア講座やイベントのチラシなどが集められています。また、会議やセミナーのための学習室、資料や印刷物の発行のための印刷機、参考資料や図書の閲覧、ボランティア活動に関するフィルムやビデオの貸し出しなど、私たちが利用できる設備もたくさんあります。毎週月曜日の午後は日本語ネットワークのスタッフも活動していますので、時間のある方はぜひ一度お訪ねください。

OPEN 月曜日～金曜日 午前9時～午後8時
土曜日 午前9時～午後5時
(日・祝日はお休みです)



▲日本語ネットワーク担当としてお世話になっているスタッフの柴田健次さん。今後とも、よろしく！



BULLETIN BOARD

★東京入国管理局立川出張所、開設。

1994年3月25日に東京入国管理局の立川出張所が新たに開設されました。在留資格及び変更、在留期間の更新、資格外活動及び永住・再入国の許可、行政相談など、在留手続きに関する業務を行っています。東京都多摩地区や隣接県に在住の方にはこちらの利用が便利ですので、お知らせください。

場所/国立市北3-31-2 立川法務総合庁舎内

☎0425-28-7179

交通/ JR立川駅から ①北口から徒歩約20分

②北口から立川バス18番『北町』『国立駅南口』行きで、『第八方面本部』停留所下車。

JR国立駅から ①北口から徒歩約25分

②南口からバス停1番『立川駅北口』行きで『第八方面本部』停留所下車。

★埼玉県大井町で外国人学習者を募集。

埼玉県の大井町日本語講座では外国人学習者を募集しています。また、近く上福岡市西公民館でも新たに日本語講座をスタート予定で準備中ということです。埼玉県上福岡市近辺に在住・在勤の外国人で希望される方がいらしたら、ご紹介ください。

場所/埼玉県入間郡大井町亀久保1082 大井町中央公民館(大井町役場前)
☎0492-61-0648 (担当/西山氏)

交通/東武東上線上福岡駅東口より東武バス『ふじみ野西口』行き、『大井町役場前』停留所下車、徒歩1~2分。

授業時間/木曜日 10:00~12:00
日曜日 10:00~12:00、13:00~15:00

★中国人学生がペンフレンドを募集。

中国で日本語を勉強中の短大生が、日本語で文通してくれるペンフレンドを募集しています。四川省成都市の西南交通大学で日本語を学ぶ19歳から22歳までの男女39名で、まじめでかわいい学生ばかりということです。文通の相手としては若い人(高校生・大学生・社会人も可)を希望。興味のある方は、下記の住所まで直接ご連絡ください。

なお、詳細について知りたい方は『成増日本語サロン』渡辺博氏(☎0474-26-4187)までお問い合わせください。

住所/中華人民共和国 四川省成都市九里堤610031

西南交通大学 外語系 菅 礼子



FROM EDITORS

会員一覧表の中の訂正

多摩市国際交流協会はセンターの間違いです。

せつかく早起きして
8:30に家を出たら、
Keio lineの奴め...
でも事故ではなかったが、
ひかーん

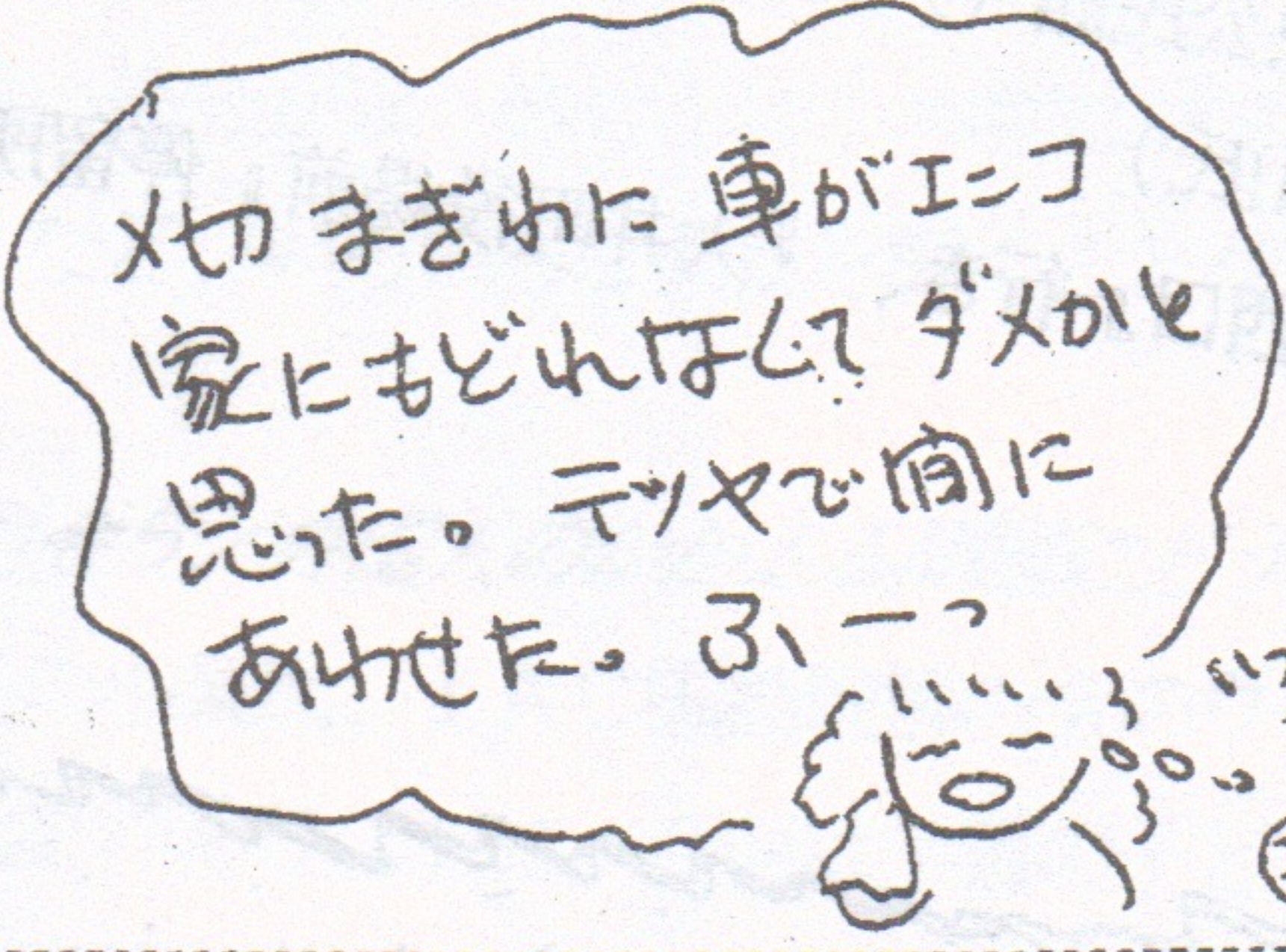
毎週月曜日 出勤
家族は「何としている?」
スタッフで楽しい時間です。
会員の方にも顔を出してください。
Y.Y.

いつもボラニテアセンターの
中を走り回ってふりまわす
うらこさ すみません
阿蓮

日本語ネットがスタートして早6か月
コンテンツは中々皆かみあって
何とか形が見えてきました。
みなさん ありがとうございます! (R.H)

メチまぎめに車がエコー
家にもどればはじめてか
思った。テッペの向に
あかせた。ふー

「あーおはさんちよと お伺いしてよろしいですか」
「はい ござい」
「実はコネコがまぎれこんで来たんだ
どーしたらいいでしょう」
「.....」 (S.F)



いつもボラニテア
エコーヤ
コネコ

我家のミルクは病気で通
院中。心配だし、お金はかかる
し...早くよくなっ! kyo



- ◆日本語ネットワークニュース創刊号「会員団体のプロフィール」のなかで、『立川国際交流協会』と記載されていたのは『立川国際友好協会』の誤りでした。関係者のみなさんにご迷惑をおかけしたことをお詫びして、訂正いたします。
- ◆東京日本語ボランティア・ネットワークの活動をサポートしてくれるスタッフを募集しています。事務局の仕事や交流会を初めとするイベントの企画運営委員など、外国人のみなさんの参加も歓迎します。毎週月曜日午後2時から4時までボランティアセンターで活動していますので、興味と時間の都合のつく方はぜひご参加ください。
- ◆『日本語教室マップ』は10月に改訂版を発行予定で、現在、新しい情報の収集と訂正作業を進行中です。なお、アンケート未提出の団体は至急お送りください。
- ◆次回の『日本語ネットワークニュース』は8月下旬に発行の予定です。みなさんからの情報やご意見、ご要望をお待ちしています。ボランティアセンター気付・前田まで郵送で、もしくはFAXにて☎03-3412-6711前田までお送りください。